



第30回例会

平成19年2月7日(水)
サンパレス福島

本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 国家斉唱 君が代
- 3 ロータリーソング 奉仕の理想
- 4 四つのテスト 誕生メッセージ発表
- 5 会長挨拶
- 6 誕生のお祝い
- 7 幹事報告
- 8 ロータリーの友読みどころ
- 9 広報誌完成及び会員増強委員会報告
- 10 会員スピーチ 佐藤 誠 会員
- 11 各委員会報告
- 12 閉会点鐘



会長挨拶

齋藤 ミヨ会長



本日は、アメリカ元副大統領アル・ゴアさんが書いた「不都合な真実」という本を紹介したいと思います。書き出しにこのままでは人類史上最悪の被害がやって来る、あなたは目を反らすのか、と書いてありました。危機感を覚えながら読みました。ほんの一部ですがお話ししたいと思います。

さて、気候の危機とは何でしょう、このことについて皆さんはどう思いますか。多くの人は、地球はものすごく大きいもので

私達人類が地球環境に大きな影響を与えるなんて絶対に出来るはずがないと思込んでいるかもしれませんが、今は人間の技術の力がこの上なく強力になっているため地球環境の多くの部分に影響を与えています。それは大気汚染だそうです。

ところで皆さんは大気の厚さはご存知ですか。たとえばみますと球にニス(つや)を塗った厚み位だそうです。この様に地球の大気は非常に薄いため、基本的には構成分子をどんどん変える事が出来てしまうそうです。今大きな鍵を握っている二酸化炭素の量の激増に直面している問題に温暖化が叫ばれておりますがこれは大量の二酸化炭素やその他の温室効果ガスを排出されこの大気の薄い層がだんだん厚くなってしまい、本当なら大気を抜けて宇宙へ出ていくはずの赤外線放射の多くを逃さなくなっている結果、地球の大気、海洋の温度は危険な程上昇しつつあり、これが気候の危機になっているそうです。

このように、地球のために私たちが出来る最初の一步は事実を知る事だとアル・ゴアさんはおっしゃられています。この危機がどれほど危険なものになっているかを知り、自分達の暮らし方を変えなくてはならないという「不都合な真実」に私達は直面しているのです。

その中で、「あなたにもすぐできる事」が書かれてあったのでいくつかお伝えします。

1. 停車中はエンジンを切る
2. こまめに蛇口をしめる
3. レジ袋を断る
4. 木を植える(一本の木は生育中に1%以上の二酸化炭素を吸収する)

情報ステーション

誕生のお祝い

- 鈴木光一 会員 2月 5日生
齋藤信男 会員 2月 7日生
齋藤 実 会員 2月 8日生
横山りつ子 会員 2月 11日生
齋藤 浩 会員 2月 13日生
平井良一 会員 2月 23日生



〇〇歳のお誕生日
おめでとうございます

ロータリーの友読みどころ

横のページ
P4・ロータリーとは
P24・基本の樹・米山奨学生
縦のページ
P14・不器用に生きて足りない物もなし(柳壇)
人名でインターネット検索してみるのも面白いですよ。



藤橋雑誌委員会副委員長

ほかにもいろいろとできる事はあります。これを機会にみんなで環境危機についてもっと学び、語り合い、そして行動に移していこうではありませんか。

広報誌完成 高橋和之会員増強委員長

“福島南ロータリークラブへのお誘い”としてパンフレットを作成しました。広報、会員増強に利用していただきたいと思えます。

『標語』
ロータリーのバッジは、
新しい友情と職業奉仕のための
パスポートです。

会員スピーチ 佐藤 誠 会員



世界理解月間に合うお話ができるか、どうか分かりませんが、私の少しばかりの海外見聞や、今までの体験から生まれました、考え方や意見を率直に申し上げたいと思います。

私は、旅行という言葉は、あまり好きではありません。それよりも旅です。旅というイメージから、浮かび上がってくるもの、それは、まだ見たこともない、未知の世界をわくわくしながら、興味一杯で体験することだと思いますし、そういう心を大事にしたいと思っています。

私は旅をするなら、やはりヨーロッパと思っています。なぜなら、そこには古い歴史があり、その歴史を大事にしている、歴史を無駄にしていない、そして、ここが大事どころですが、現代に生かしている、人々の生活や考え方があると、思われるからです。

歴史を大事にする、一つの表れとして、古い町並みを大切に保存しております。中世の町をそっくり保存しているだけでなく、前の戦争で破壊された、町並みや歴史的な建築物の復元や保存にも大変な努力を続けておるようです。

また、ヨーロッパの国々では、自由貿易・自由貿易と主張する国があっても、頑として自国の農業を守っております。平らな畑は勿論のこと、なだらかな斜面や結構急な斜面の畑もよく手入れされております。日本のような耕作放棄や、休耕田のようなものは、見当たりません。親代々農家だった私には、たいへん好ましい、たのしい風景でした。

皆さんに、お配りしたコピーの中に、「今ここにいる自分は、意識する、しないにかかわらず、過去も現在も含めた人との繋がりの中にある。どんな犠牲の上にあるのか、どんな誤りの続きを生きているのか、その結果自分が何を負い、やがて負わねばならぬのか。人は歴史を抜きにしては生きて行けない。」さらに、「社会を見る目を持たせずに、この国はどんな高い学力を生徒に求めるのか、歴史を踏まえず、人間を見ない科学は・・・」と続きますが、まさにこの通りだと思います。

日本は日米安保条約で、すっかりアメリカに取り込まれているようですが、それはそれとして、アジア諸国、特に中国や韓国

とは、過去の歴史を認め合い、その歴史を鏡として、本当に裏表のない、友好関係を築いていくことが、日本の将来にとって、なにより大切な事だと考えています。

今週のメッセージ

齋藤ミヨ:30回例会、ニコニコ笑っている樋口一葉さんを入れさせていただきます。

佐藤 信:葬儀告別式の御礼

林 克重:来年福島で全国商店街サミットを受けました。

齋藤 浩:立春も過ぎていよいよ春本番ですね。

佐藤 誠:会員スピーチ御礼

福田順一:佐藤 信先生の奥様のご冥福をお祈り申し上げます。

紺野仁昭・黒羽好夫:佐藤 誠会員のスピーチに感謝

今月・来月のプログラム

3月7日(水) クラブ協議会

3月14日(水) ゲストスピーチ

国交省福島河川国道事務所 遠藤隆一 様

3月21日(水) 休会(春分の日)

3月25日(日) 東北第一区親善囲碁大会

(ホストクラブ:福島21RC・常円寺)

3月28日(水) 創立記念夜間例会

編集担当 松 弘昭